

9 見学・実習

9.1 飛騨天文台

7月22日	兵庫県滝高校天文部見学	16名
7月23日	サイエンスツアー(富山県小学生)	60名
7月30日	枚方市野外活動センター見学	7名
8月3日	「夢のたまご事業」 中学生のためのサイエンスキャンプ(岐阜県)	45名
8月7日	キャンプ砂防 in 奥飛騨見学	10名
8月7日	飛騨地区観望会	80名
8月20日	大野郡教育研究会理科部会見学	7名
8月23日～27日	天体観測実習	13名
8月28日～30日	ポケットゼミ「活動する宇宙」合宿 (この間専用道路工事のため見学実習事業は休止)	12名
12月1日	富山県ひとづくり財団職員見学	2名

9.2 花山天文台

5月15日～16日	放送大学 講義	18名
8月15日～20日	洛東高校 実習	8名
8月19日	理科離れを無くす会	約20名
8月27日	東山高校地学クラブ	約15名
10月23日	一般公開	約570名
10月26日	オランダ ナイメヘン大学	18名
11月24日、12月16日	堀川高校 見学	計20名
2月21日	韓国大学生 見学	3名
3月15日	比叡山高校 見学	27名

洛東高校実習

花山天文台では、一昨年から京都府立洛東高等学校の生徒を夏休みに約1週間受け入れて、天文台の観測機器を活用した「太陽物理観測実習」を行なっています。

2004年度は文部科学省の「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」の一環として行われました。8月16日から20日までの5日間、洛東高校の1、2年生8人と指導教員の西村昌能教諭が、毎日花山天文台に訪れて熱心に観測実習を行いました。天文台職員や大学院生の指導のもと、18 cm ザートリウス望遠鏡を用いた撮像観測と70 cm シーロスタット望遠鏡を用いた分光観測を行いました。解析は主として分光観測データを用いて、太陽自転速度や黒点磁場強度の測定、太陽フレアのスペクトルの時間変化について、三つに班に分かれて行ない、最終日には成果発表会が開かれました。また、冬休みなども利用して更に解析を進め、2005年3月に明星大学で開催された日本天文学会ジュニアセッションでも発表が行なわれました。

(石井)